

熊本女子大学

熊本市健軍町水洗二四三二―
電話 (〇九六三) 八三―二九二九



本学は、本年四月に学部・学科を改組し、近代的な新校舎に移転しました。新しいキャンパスは旧空港跡地で、敷地六七、〇〇〇㎡、建物が一七、〇〇〇㎡あります。環境としても申し分なく、大学教育の場としてふさわしい品位と美観を備え、かつ機能性のある配置となっております。

本学は昭和二十二年に開校された熊本県立女子専門学校が母体となり、昭和二十四年に新制大学として熊本女子大学に昇格したものです。本県は由来文教の伝統を誇る教育適地ではありますが、女性の天職と知能に即した女性のための大学として、県民の熱望と期待によって新学制の発足と同時に他県にさきがけて設立されたものであります。以来南九州では唯一の公立女子大学として地域の女子教育に大きな役割を果たしてきました。

三十余年の歴史を経て、卒業生四千八百名を送りましたが、卒業生は教育・文化・産業等の職業分野で活躍し、あるいは家庭にあって知識婦人層を形成しながら、漸く社会の中堅の位置を占めはじめました。

本学の指導理念は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授・研究し、知的、

道徳的及び応用能力を養い、もって社会の福祉の増進と文化の向上に貢献する有為で教養豊かな女子を育成して、地域社会の発展に寄与することを目標としています。女性の特性にに応じて、個々人それぞれの特性を十分伸ばしうるような教育をすることにあり、現代の社会情勢に適応した学部・学科の構成とカリキュラムの編成に工夫をこらしています。二学部五学科で、文学部には国文学科と英文学科、生活科学部には食物栄養学科、生活環境学科、生活経営学科が、入学定員は各学科とも四十名です。

卒業後の免許資格として、中学一級・高校二級の教員免許状(国語、英語、家庭)や、栄養士免許証(食物栄養学科)が取得できます。また、生活改良普及員の受験資格(生活科学部の各学科)や、衣料管理士、建築士(生活環境学科)として進むことができます。

卒業生は大学院進学、家事、結婚を除いて約九〇%が就職を希望していますが、卒業後三か月では決定しておりません。本年春の卒業生で就職決定者百四十一名の内訳は、教員四十一名、公務員三十三名で、全体の半数以上になっていきます。次いで事務、栄養士、研究員、販売員、秘書、スチュワーデスなどとなっています。



このコーナーは県出身者で各界で活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。

百万人の経営

日立造船会長 永田敬生

講演のため来熊中の日立造船会長、永田敬生氏をホテルに訪ねた。世界の大企業の会長ということで、緊張のうちに話を聞き始めたが、なんと話をしてみると、熊本弁まじりのとてもきさくな人であった。

明治四十四年九月一日、上益城郡益城町大字上陳に生まれる。津森小学校、熊本中学から長崎高等商業学校(現長崎大学経済学部)卒業

昭和九年二月、日立造船の前身、大阪鉄工所入社、昭和十九年戦時中の苦難の時代を日立造船神奈川工場勤務部長として勤める。これが戦後の労働問題や、経営にとりくむ、氏の意志決定のかけがえのない経験となつてゐる。以来、常務取締役、専務取締役、副社長を経て、昭和三十七年十一月から五十四年六月まで十七年間社長を勤め、現在取締役会長。

日本造船工業会長、日本経営者団体連盟副会長等を歴任。現在日本経営協会、及び日本在外企業協会会長。また、昭和四十二年十月、デンマーク国からダニブログ勲章を、四十五年十一月、藍綬褒章を受賞する。現住所大阪府茨木市北春日丘三丁目四番七号。



津森出身

私は現在の益城町の生まれでして、合併前は津森村と言っていました。熊本空港が半分ぐらい益城町になっていますね。水前寺から、木山を通り阿蘇の山西、今は河原と合併し西原村となっているようですが、その方向に約三里、十二kmばかり行ったところが津森なんです。熊本平野の東側の端の部分ですね。その小学校を卒業したんです。

小学時代

小学生の頃は相当のガキ大将だったことを覚えてます。同じ学年に弱い者いじめをする悪ゴロが、二、三人いましたね、その中の首領格と大げんかしたりしましてね、まあ、こっちも弱い者の味方としても、相当のガキ大将だったように覚えています。

熊中受験

当時は小学校五年から中学受験ができたので、私も先生にすすめられて受けま